



『どんなに小さくてもマンモグラフィはできますか？』

「乳房が小さいのですが、マンモグラフィの受診は可能ですか？」と質問されることがよくあります。答えは、少し痛みが増すかもしれませんが乳房が小さくてもほとんどの方がマンモグラフィの撮影は可能ですので、安心して受診して下さい（乳房の大きさではありませんが、胸郭の変形により、マンモに適していない方はいらっしゃいます）。

小さい乳房で思い出しましたが、男性でもマンモグラフィの撮影をする事があります。驚かれる方もいらっしゃるかと思いますが、男性にも乳腺があり乳がんが発生する事があります。

その頻度は、全乳がんの 0.5% くらいです。しかし、男性の乳がんは発見された時には進行がんが多く、女性に比べ予後が悪いのが現状です。



乳がん死亡率減少

このたび発表された厚労省の人口動態調査で、増え続けていた乳がん死亡率が 2012 年に初めて減少したことがわかりました。乳がん死亡率（人口 10 万人当）は、2011 年の 19.7 人から 2012 年には 19.4 人と 0.3 人減少。たった 0.3 人ですが、この意味は非常に大きいと思います。

減少した理由のひとつとして、2000 年から導入されたマンモグラフィ検診の効果が考えられます。マンモグラフィ検診は、NPO 法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会*が中心となり、我が国初の全国的に統一された精度管理上でおこなわれているがん検診であり、10 年が経過しその成果がでてきたのかもしれませんが。

マンモグラフィ受診率の高い欧米では、90 年代から死亡率が減少しており、我が国でも受診率があがればさらに死亡率の減少も期待されます。対象年齢の方は、ぜひマンモ検診を受診してください。

表 乳がん罹患率

	患者数	比率
女性	47,899	99.5%
男性	234	0.5%
合計	48,133	100.0%

2010 年度全国乳がん患者登録調査報告（日本乳癌学会）

男性の方で乳房に「しこり」など異常を感じた時は女性化乳房症が考えられますが、上記のようにがんが発生することがあるので躊躇せずに専門医を受診してください。

*マンモグラフィだけでなく超音波も含めた精度管理を実施するため「NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構」に名称変更されました。